



今年の夏は、雨雨雨雨・・・酷暑酷暑酷暑酷暑・・・そしてまた雨雨雨雨・・・という天気でしたね。大好きなプールに入れる日はどの子も大喜びでした。先週の“プールおわりの会”では、年長さんがみんなの前でこの夏のそれぞれの成長を誇らしげに披露してくれました。少し照れながら頑張っている子もいましたが、それぞれの姿は、この夏心身ともに一回り大きくなったことを証明してくれたようでした。

昨年の時点では、今年度は例年どおりにプールが出来ることを期待していたのですが、今年もコロナ感染は収まらず、プール遊びをするかどうか検討したところ、コロナ対策として人数制限をするなど入り方を考えて対応しました。終わってみて、何事もなく無事に過ごせたことや子どもたちの喜ぶ姿を見て、今年度もやってよかったと思いました。保護者の皆さまにはいつも保育園の活動にご理解いただき、温かく見守っていただいることに、あらためて感謝いたします。

【保護者会奉仕活動では大変お世話になりました！】

今年度は、6月と8月の2回(3クラスずつ)に分けて、園庭の整備・草取り・溝掃除・窓拭き・サッシ掃除・プールの解体などをしていただきました。とてもきれいになり、気持ちよく過ごさせていただいています。6月にきれいに抜いてもらった草は7月8月の間にずいぶん伸び、先日再びきれいにしてもらいました。

※2回とも参加することが出来なかったご家庭の方がティッシュ2箱と雑巾2枚を持ってきたので活用させていただきます。まだの方はよろしく願いいたします。

9月の予定

3日(金)	ひかりクリーンデイ
7日(火)	避難訓練
13日(月)の週	身体測定
16日(木)	誕生会
22日(水)	内科検診
24日(金)	集金日
	布団持ち帰り
27日(月)	瑞風歓迎旗振り たいようぐみ (神戸川土手沿線)

9月1日は防災の日

今年は身近でも水害の被害がありましたね。みなさん、非常用品は備えていますか？もしもの時、すぐに取り出せるよう、決まった場所に用意しておきましょう。また、定期的に中身のチェックをし、水や食料品など、期限切れの物が入っていることのないようにしましょう。



～子どものよいところを見つけよう～

乳幼児期に身近な人から叱られる経験が続くと、子どもの自己肯定感や自己有能感が育たず、成長してからも「生きづらさ」を抱えてしまうことがあります。子どもには必ず“よいところ”“すてきなところ”があります。「この子のよさはどこだろう」と、子どもを肯定的に見て、よいところをどんどん褒めましょう。得意な遊びを知って「さすが！！」と認める。お手伝いを頼んで「やってくれてありがとう！」と伝えるなどもよい方法ですよ。

～パラリンピックを見て～ 山陰中央新報より

『日本にオリンピック・パラリンピック史上で最年長となる50歳の金メダリストが生まれた。大けがから5年、パラリンピックアスリートとして蘇った杉浦佳子さんだ。記憶や認知機能に障害が出る高次脳機能障害、家族や友人の顔や名前はもちろん、漢字も忘れて字も読めなくなっていたそう。厳しいリハビリの最中「パラサイクリングに挑戦してみないか」と、知人が背中を押してくれ、周囲からかけられた言葉が前を向く希望へと変わっていった。』

今も残る高次脳機能障害と闘うために、日記を書くことにしている。文字として残す効果を杉浦さんはこう語った。「忘れてしまうことが絶対ないようにという思いが強くて丁度1年前はこうだったと思い出せることが1番嬉しくて毎日がリハビリです」と笑顔を輝かせていた。

今朝、この新聞記事を読みました。50歳で金メダル！すごいですよね。

自分の限界に挑戦することは並大抵のことではないです。日々の努力も必要ですね。その努力を天の神様は見えておられる、そんな気がします。

私など、自分に甘く、ちょっとしたことですぐに諦めてしまいます。反省しながら前進して、また反省して……。オリンピック・パラリンピック、その他周りのひとたちに元気をもらいながら、何歳になっても挑戦することは大事ななあと感じました。〇〇だからできない。なんて言い訳できないですね。

選手の皆さん、勇気をありがとうございました。

筆：園長 田中朝美



薄着で元気！(^^)!

薄着の習慣は今が大事！

これから少しずつ秋らしくなっていくと、長袖長ズボンになっていくのですが、元気な子どもの服装は、基本的には①『子どもは大人より1枚少ない目』②『動きやすい半ズボン』が好ましいです。戸外に出る時用に長ズボンが着替えBOXに入っているといいと思います。

寒いからと早々と厚着をしてしまうと冬は寒くて、元気に動けず遊びにくくなってしまいますね。

— 2 —